

一、最新中国法令

● 防范和处置非法集资条例

- 【发布单位】国务院
【发布文号】国务院令 第 737 号
【发布日期】2021-02-10
【实施日期】2021-05-01
【内容提要】根据该条例：
- 非法集资，是指未经国务院金融管理部门依法许可或者违反国家金融管理规定，以许诺还本付息或者给予其他投资回报等方式，向不特定对象吸收资金的行为。中国禁止任何形式的非法集资。
 - 除法律、行政法规和国家另有规定外，企业、个体工商户名称和经营范围中不得包含“金融”、“交易所”、“交易中心”、“理财”、“财富管理”、“股权众筹”等字样或者内容。
 - 除国家另有规定外，任何单位和个人不得发布包含集资内容的广告或者以其他方式向社会公众进行集资宣传。

【法令全文】请点击以下网址查看：
防范和处置非法集资条例
http://www.gov.cn/zhengce/content/2021-02/10/content_5586632.htm
官方答记者问
http://www.gov.cn/zhengce/2021-02/14/content_5587087.htm

● 最高人民法院关于深入推进社会主义核心价值观融入裁判文书释法说理的指导意见

- 【发布单位】最高人民法院
【发布文号】法〔2021〕21号
【发布日期】2021-02-18
【实施日期】2021-03-01
【内容提要】该意见全面规范了法官运用社会主义核心价值观释法说理的基本原则、基本要求、主要方法、重点案件、范围情形和配套机制等内容。

六类应强化释法说理的重点案件

1. 涉及国家利益、重大公共利益，社会广泛关注的案件；

一、最新中国法令

● 违法な資金調達の防止・処分条例

- 【発布機関】国务院
【発布番号】国务院令 第 737 号
【発布日】2021-02-10
【実施日】2021-05-01
【概要】本条例によると、以下の通りである。
- 違法な資金調達とは、国务院の金融管理部门から法に依拠して許可を得ず又は国の金融管理規定に違反して、元利返済又はその他投資収益の支払い等を約束し、不特定対象者から資金を吸い上げる行為のことを言う。中国において形式の如何を問わず違法な資金調達を禁止する。
 - 法律、行政法規及び国に別段の定めがある場合を除き、企業、個人事業主の名称及び経営範囲に「金融」、「交易所（取引所）」、「交易中心（取引センター）」、「理財（資産運用）」、「财富管理（ウェルス・マネジメント）」、「股權衆籌（株式投資型クラウドファンディング）」等の字句や内容を含めてはならない。
 - 国に別段の定めがある場合を除き、いかなる組織及び個人も資金調達に係る内容を含む広告を掲載したり、他の方法で一般大衆に向けて資金調達を呼びかけてはならない。

【法令全文】下記の URL をクリックしてください。
違法な資金調達の防止・処分条例
http://www.gov.cn/zhengce/content/2021-02/10/content_5586632.htm
記者からの質問に対する公式回答
http://www.gov.cn/zhengce/2021-02/14/content_5587087.htm

● 社会主義の核心的価値観を裁判文書における法解釈、道理の説明に浸透させる取組みの推進に関する最高人民法院による指導意見

- 【発布機関】最高人民法院
【発布番号】法〔2021〕21号
【発布日】2021-02-18
【実施日】2021-03-01
【概要】本意見では裁判官が社会主義の核心的価値観を取り入れて法解釈、道理の説明を行うに際しての基本原則、基本要求、主な方法、重点事案、範囲及び状況、関連メカニズム等の内容を全面的に規範化している。

法解釈、道理の説明を強化すべき6種類の重大事案

1. 国の利益、重大な公共利益に関わる、広く世間の関心を集めている事案。

<ol style="list-style-type: none"> 2. 涉及疫情防控、正当防卫、紧急避险等，可能引发社会道德评价的案件； 3. 涉及老年人、妇女、儿童、残疾人等弱势群体以及特殊群体保护，诉讼各方存在较大争议且可能引发社会广泛关注的案件； 4. 涉及公序良俗、风俗习惯、权利平等、民族宗教等，诉讼各方存在较大争议且可能引发社会广泛关注的案件； 5. 涉及新情况、新问题，需要对法律规定、司法政策等进行深入阐释，引领社会风尚、树立价值导向的案件； 6. 其他应当强化运用社会主义核心价值观释法说理的案件。
三种释法说理情形 <ol style="list-style-type: none"> 1. 有裁判依据的，先依法释明，再运用社会主义核心价值观围绕法律依据阐释理由。 2. 民商事案件无规范性法律文件作为裁判直接依据的，除了可以适用习惯以外，法官还应当以社会主义核心价值观为指引，以最相类似的法律规定作为裁判依据。 3. 案件涉及多种价值取向的，法官应当依据立法精神、法律原则、法律规定以及社会主义核心价值观进行判断、权衡和选择，确定适用于个案的价值取向，并在裁判文书中详细阐明依据及其理由。

【法令全文】请点击以下网址查看：
关于深入推进社会主义核心价值观融入裁判文书释法说理的指导意见
<http://www.court.gov.cn/fabu-xiangqing-287211.html>
官方答记者问
<http://www.court.gov.cn/zixun-xiangqing-287221.html>

● **危险化学品企业重大危险源安全包保责任制办法（试行）**

【发布单位】应急管理部办公厅
【发布文号】应急厅〔2021〕12号
【发布日期】2021-02-04
【实施日期】2021-02-04（有效期三年）
【内容提要】该办法适用于取得应急管理部门许可的涉及危险化学品重大危险源的危险化学品生产企业、经营（带储存）企业、使用危险化学品从事生产的化工企业，不含无生产实体的集团公司总部。

<ol style="list-style-type: none"> 2. 新型コロナウイルス肺炎感染拡大防止、正当防衛、緊急避難等に関わる、社会においてその行為の是非・善悪を議論され得る事案。 3. 高齢者、婦女、子ども、障がい者等の社会的弱者及び特定の社会的集団の保護に関わり、訴訟における各当事者間において大きな争いがあり、且つ広く世間の関心を集める可能性のある事案。 4. 公序良俗、風習、権利の平等、民族宗教等に関わり、訴訟における各当事者において大きな争いがあり、且つ広く世間の関心を集める可能性のある事案。 5. 新しい状況、問題が発生し、法律規定、司法政策などをさらに詳細に解釈する必要があり、社会の潮流、価値観の目指すべき方向性となる事案。 6. 社会主義の核心的価値観を運用した法解釈、道理の説明を強化すべき其他事案。
法解釈、道理の説明を行う3種類の状況 <ol style="list-style-type: none"> 1. 裁判の根拠がある場合、先ず法に基づき解釈してから、社会主義の核心的価値観を運用し法的根拠を中心に理由を詳述する。 2. 裁判の直接の根拠となる規範的な法律文書がない民事・商事事案においては、慣習を適用するほか、裁判官は、さらに社会主義の核心的価値観を指針として、類似性が最も高い法律規定を根拠として判決を下さなければならない。 3. 多様な価値基準が混在する事案において、裁判官は立法趣旨、法律原則、法律規定及び社会主義の核心的価値観に基づき判断、斟酌、選択といったプロセスを経て、個々の事案に適用する価値基準を確定したうえで、裁判文书において根拠及びその理由を詳細に説明しなければならない。

【法令全文】下記の URL をクリックしてください。
社会主義の核心的価値観を裁判文书における法解釈、道理の説明に浸透させる取組みの推進に関する指導意見
<http://www.court.gov.cn/fabu-xiangqing-287211.html>
記者からの質問に対する公式回答
<http://www.court.gov.cn/zixun-xiangqing-287221.html>

● **危险化学品企业重大危险源安全保证彻底责任制办法（试行）**

【発布機関】应急管理部办公厅
【発布番号】应急厅〔2021〕12号
【発布日】2021-02-04
【実施日】2021-02-04（有効期間3年）
【概要】本弁法は、应急管理部門の許可を得た、危険化学品重大危険源に関わる危険化学品の生産企業、取扱（保管を含む）企業及び危険化学品を使用して生産に従事する化学工業企業に適用されるものであり、生産の実体がないグループ会社の本部は含まれない。

有关企业应于 2021 年 03 月 31 日前通过全国危险化学品登记信息管理系统完成包保责任人有关信息的填报工作，于 04 月 30 日前完成在属地应急管理部门报备、企业公示牌设立、安全风险承诺公告内容更新等相关工作，全面落实重大危险源安全包保责任制。

【法令全文】请点击以下网址查看：
https://www.mem.gov.cn/gk/zfxqgkpt/fdzdqknr/202102/t20210207_379780.shtml

● **国家税务总局关于办理 2020 年度个人所得税综合所得汇算清缴事项的公告**

【发布单位】国家税务总局
 【发布文号】国家税务总局公告 2021 年第 2 号
 【发布日期】2021-02-08
 【内容提要】该公告总体上延续了 2019 年度公告的基本框架和主要内容，并推出了进一步简便优化办税的新举措。

年度汇算的主体
<ul style="list-style-type: none"> 仅指依据个人所得税法规定的居民个人。 非居民个人，无需办理年度汇算。
年度汇算的范围和内容
<ul style="list-style-type: none"> 仅指纳入综合所得范围的工资薪金、劳务报酬、稿酬、特许权使用费等四项所得。 经营所得、利息股息红利所得、财产租赁所得等分类所得不纳入年度汇算。
年度汇算时间
<ul style="list-style-type: none"> 2021 年 03 月 01 日至 06 月 30 日。 在中国境内无住所的纳税人如果在 2021 年 03 月 01 日前离境的，可以在离境前办理年度汇算。

【法令全文】请点击以下网址查看：
 关于办理 2020 年度个人所得税综合所得汇算清缴事项的公告
<http://www.chinatax.gov.cn/chinatax/n363/c5161493/content.html>
 官方解读
<http://www.chinatax.gov.cn/chinatax/n810341/n810760/c5161494/content.html>

● **商务部办公厅关于印发商务领域促进汽车消费工作指引和部分地方经验做法的通知**

【发布单位】商务部办公厅
 【发布文号】商办消费函〔2021〕58 号
 【发布日期】2021-02-09
 【法令全文】请点击以下网址查看：
<http://scyxs.mofcom.gov.cn/article/h/202102/20210203038079.shtml>

かかる企業は、2021 年 3 月 31 日までに、全国危险化学品登記情報管理システムを通じて、安全保証責任者関連情報の入力作業を完了させ、4 月 30 日までに、所属地の应急管理部門での届出、企业公示プレートの設置、安全リスク承諾公告内容の更新等の関連作業を完了させ、重大危険源安全保証徹底責任制を全面的に貫徹しなければならない。

【法令全文】下記の URL をクリックしてください。
https://www.mem.gov.cn/gk/zfxqgkpt/fdzdqknr/202102/t20210207_379780.shtml

● **2020 年度个人所得税综合所得的确定申告手続きに関する国家稅務總局による公告**

【発布機関】国家稅務總局
 【発布番号】国家稅務總局公告 2021 年第 2 号
 【発布日】2021-02-08
 【概要】全体的に見て、本公告は 2019 年度公告の基本的枠組み及び主な内容を踏襲した上で、税務手続きの更なる簡素化のための措置を新たに打ち出している。

年度確定申告の主体
<ul style="list-style-type: none"> 個人所得税法に定める居住者個人のみを指す。 非居住者個人は年度確定申告を行う必要はない。
年度確定申告の範囲及び内容
<ul style="list-style-type: none"> 総合所得に組み入れられる賃金給与、役務報酬、原稿報酬、特許権使用料等の 4 項目の所得のみを指す。 事業所得、利子所得及び配当所得、財産リース所得等に分類される所得は年度確定申告の対象にはならない。
年度確定申告期間
<ul style="list-style-type: none"> 2021 年 3 月 1 日から 6 月 30 日までとする。 中国国内に住所を有さない納税者が 2021 年 3 月 1 日前に中国を離れる場合、中国出国前に年度確定申告手続きを行うことができる。

【法令全文】下記の URL をクリックしてください。
 2020 年度个人所得税综合所得的确定申告手続きに関する公告
<http://www.chinatax.gov.cn/chinatax/n363/c5161493/content.html>
 公式解説
<http://www.chinatax.gov.cn/chinatax/n810341/n810760/c5161494/content.html>

● **ビジネス分野における自動車消費拡大への取組のガイドライン公布及び一部の地方における実績に関する商務部弁公庁による通知**

【発布機関】商務部弁公庁
 【発布番号】商弁消費函〔2021〕58 号
 【発布日】2021-02-09
 【法令全文】下記の URL をクリックしてください。
<http://scyxs.mofcom.gov.cn/article/h/202102/20210203038079.shtml>

- [北京市促进总部企业高质量发展的相关规定](#)
[关于跨国公司在京地区总部认定事项告知承诺制度的实施意见（试行）](#)

【发布单位】北京市人民政府、北京市商务局
 【发布文号】京政发〔2021〕3号、京商总部字〔2021〕4号
 【发布日期】2021-02
 【法令全文】请点击以下网址查看：
 北京市促进总部企业高质量发展的相关规定
http://www.beijing.gov.cn/zhengce/zhengcefaqu/202102/t20210209_2280757.html
 关于跨国公司在京地区总部认定事项告知承诺制度的实施意见（试行）
http://www.beijing.gov.cn/zhengce/zhengcefaqu/202102/t20210209_2280491.html

- 【注】
- 如果需要了解法律、法规或政策的全文内容或需要相关日文翻译服务，请与我们联系；
 - 本栏目所公布的网址通常为官方网址，如果无法访问，您可以通过搜索引擎查阅或与我们联系。

二、最新资讯

- [国家市场监督管理总局就《严重违法失信企业名单管理办法》、《企业名称争议处理暂行办法》、《关于健全信用修复机制的实施意见》征求意见](#)

日前，国家市场监督管理总局起草了《严重违法失信企业名单管理办法（修订草案征求意见稿）》、《企业名称争议处理暂行办法（征求意见稿）》、《关于健全信用修复机制的实施意见（征求意见稿）》，现向社会征求意见。

《严重违法失信企业名单管理办法（修订草案征求意见稿）》的内容包括总则、管辖、列入情形、列入移出程序、失信惩戒措施、信用修复的标准、程序、监督等以及纠错、救济和监督程序。

（里兆律师事务所 2021年02月19日编写）

- [国家市场监督管理总局对某电商平台不正当竞争违法行为作出行政处罚](#)

日前，国家市场监督管理总局对某电商平台不正当竞争违法行为作出行政处罚决定，罚款人民币300万元整。当事人为获取竞争优势及交易机会，

- [北京市において本部企業の良質な発展を促進することに関する規定](#)
[多国籍企業の北京における地域本部認定事項の告知承諾制度に関する実施意見（試行）](#)

【発布機関】北京市人民政府、北京市商務局
 【発布番号】京政発〔2021〕3号、京商総部字〔2021〕4号
 【発布日】2021-02
 【法令全文】下記のURLをクリックしてください。
 北京市において本部企業の良質な発展を促進することに関する規定
http://www.beijing.gov.cn/zhengce/zhengcefaqu/202102/t20210209_2280757.html
 多国籍企業の北京における地域本部認定事項の告知承諾制度に関する実施意見（試行）
http://www.beijing.gov.cn/zhengce/zhengcefaqu/202102/t20210209_2280491.html

- 【注】
- 法令・政策の全文の内容や相応の日本語訳のサービスが必要な場合には、私共にご連絡ください。
 - ご案内するURLは政府筋の公式サイトですが、リンクできない場合は、検索エンジンで検索いただくか、私共にご連絡いただければと思います。

二、新着情報

- [国家市場監督管理總局が「重大違法信用喪失企業リスト管理弁法」、「企業名稱紛争處理暫定弁法」、「信用回復メカニズム健全化に関する実施意見」について、パブリックコメントを募集している](#)

先頃、国家市場監督管理總局が「重大違法信用喪失企業リスト管理弁法（改正草案意見募集案）」、「企業名稱紛争處理暫定弁法（意見募集案）」、「信用回復メカニズム健全化に関する実施意見（意見募集案）」を起草し、パブリックコメントを募集している。

「重大違法信用喪失企業リスト管理弁法（改正草案意見募集案）」の内容には総則、管轄、名簿に収載される状況、収載及び削除の手続き、信用喪失者に対する制裁措置、信用回復の基準、手続き、監督等並びに是正、救済、監督手続きが含まれている。

（里兆法律事務所が2021年2月19日付で作成）

- [国家市場監督管理總局が某ECプラットフォームを不正競争防止法違反で行政罰に処した](#)

先頃、国家市場監督管理總局は某ECプラットフォームを不正競争防止法違反で行政罰に処することを決定し、300万円の過料を科した。当事者は競争上の優位

开发并使用巡检系统，获取同时在本公司和其他公司上架销售的品牌经营者信息，利用技术手段，通过影响用户选择，及限流、屏蔽、商品下架等方式，减少品牌经营者的消费注意、流量和交易机会，限制品牌经营者的销售渠道，妨碍、破坏了品牌经营者及其他经营者合法提供的网络产品和服务正常运行。

(里兆律师事务所 2021 年 02 月 19 日编写)

三、近期热点话题

※企业近期的关注话题 (=律师近期的关注话题)

- [民法典司法解释](#)

性或取引機会を獲得するために、パトロール検査システムを独自に開発して、これを使用し、同時に自社と他社において販売しているブランド事業者の情報を取得し、技術的手法により、ユーザーの選択に影響を及ぼし、アクセス制限、ブロック、商品撤去等の方式を通じて、ブランド事業者に対する消費者の注目度、アクセス量、取引機会を減少させ、ブランド事業者の販路を制限し、ブランド事業者及びその他事業者がオンライン上で合法的に提供している製品及びサービスの正常な運営を妨害した。

(里兆法律事務所が 2021 年 2 月 19 日付で作成)

三、トピックス

※企業が最近注目している話題 (=弁護士が最近注目している話題)

- [民法典の司法解释](#)